

令和5年度 特別の教育課程（書道科）の実施状況等について

春日井市立大手小学校

1. 本校の教育目標

- ア 命の尊厳さを知り、自らの健康・安全に努め、心と体を鍛え、生涯を通してたくましく生きていく力を育てる。
- イ 基礎・基本となる学習習慣と学力を身に付けさせ、思いを追求することの楽しさを体得させる。
- ウ 人間性の土台である心の安定と豊かな感性及び多様な人間関係の育成に努める。
- エ 上記、ア・イ・ウの調和のある育ちのもと、一人一人が思いに沿って、情報を選択し、友達と協力し追求する姿を「生きる力」ととらえ、その育成に努める。

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

小学校第1～6学年において新教科「書道科」を新設する。第1学年は、国語を30時間、生活科を4時間削減して新教科に充て、第2学年は、国語を30時間、生活科を5時間削減して新教科に充てる。第3～6学年は、国語を30時間、総合的な学習の時間を5時間削減して新教科に充てる。「書道科」において、書を書くという具体的な活動を通し、友だちと触れ合ったり、家庭生活での話題をもたらしたり、地域の人々とのかかわりを生んだりする。そこから、集団の中での自分の役割や行動の仕方を考えさせるとともに、「書のまち」に生きるよさと愛着をもたせる。

また、「書道」という伝統文化や「書のまち」を発信する地域の特性を探究する活動にも取り組むことを通して、表現力の向上と向上心の伸長を図るとともに、日本古来の文化や自分の生活する地域を振り返りながら自己の生き方をも考えさせる。

(2) 特例の適用期間

平成23年4月1日～令和11年3月31日

(3) 実施学年

1年、2年、3年、4年、5年、6年、(特別支援学級 単独でも実施)

(4) 地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

本市は、三蹟のひとり小野道風の生誕の地と言われており、全国的にも数少ない書専門の美術館小野道風記念館を有し、「書のまち春日井」として、書道の普及発展に力を入れている。特に、小野小学校では、愛知県下児童・生徒席上揮毫大会が昭和11年から戦争中も途切れることなく開催され、第1回からの優秀作品を保管するなど、愛知県の書道教育の中心的な役割を果たしてきている。

書道は、「文字を正しく整えて書く」ことにおいて、従前から行われてきた国語科における書写の目的に共通するが、その文化・芸術性及び精神性においては、書写とは一線を引くものである。現在、児童の「表現力の向上」「心の教育の充実」などが重要な教育課題であると認識している。それらを解決するため、前述した地域性や学校の特色、さらには書道の特性を活かした「書道科」を新設し、表現力の向上を目指すとともに、よりよい作品をつくりあげようとする向上心、つくりあげた達成感から得られる自尊感情、相互評価などの他者との関わりから得られる親切心や規範意識等、特に心の充実を図りたいと考える。また、同時に郷土愛についても、書道を通して「書のまち春日井」に根ざして生活している自覚を促し、育てていく。

(5) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

2に記載する特別の教育課程について、教育基本法（平成18年法律第120号）及び学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する小学校等の教育の目標に関する規定等に照らして適切であることを、春日井市教育委員会において確認済。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する評価

(1) 評価の観点

- ① 特別の教育課程の編成・実施により、学校の教育目標が十全に達成されているか
- ② 教育課程全体としてバランスのとれた教育活動が実施され、学校教育法に示す学校教育の目標が十全に達成されているか

(2) 自己評価

児 童	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先生から丁寧に教えてもらった書き順や筆遣いを意識すると、思い通りに書けて達成感を感じた。 ・ 最初は難しかった漢字や筆使いも、毎週練習することで少しずつ上達を実感している。 ・ 書道を通して、背筋を伸ばし、正しい姿勢で字を書く習慣が身につき、集中力も高まった。 ・ 作品作りを通して、書道表現の楽しさを味わい、字を書くことへの興味が高まった。 ・ 毎回作品に落款印を押すことで、作品への愛着が出てきた。
教 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低学年の水習字は、児童が筆使いの面白さを味わい、書道への興味関心を高める貴重な機会となっている。 ・ 書の時間では、担任と書道科講師の2人で個別に指導していくことで、短時間で一人一人の作品の完成度を高めることができた。 ・ 書道を通して、筆順や字形、バランスを意識するようになり、日常生活でも丁寧に書こうという姿が見られた。
保 護 者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書道は日本の伝統文化であり、子供たちに継承していく必要がある。 ・ 書道を通して、集中力や精神力、文字の丁寧さ、表現力、創造性などを育むことができる。

	<ul style="list-style-type: none">・ 春日井市は書のまちとして知られており、書写教育に力を入れていることは素晴らしい。・ 字の指導だけでなく、書の作品づくりなどにも親しんでいけるとよい。
--	---

(3) 学校関係者評価

<ul style="list-style-type: none">・ 書道科講師の派遣は大変ありがたく、今後も継続して充実させてほしい。書道科講師の指導を受けることで、児童は書道への興味関心を高め、書道技術を向上させることができる。・ 書道科講師の筆使いを間近で見るとは、児童にとって貴重な経験であり、書道に対する理解が深まる。・ 書道科講師が定期的に教えてくださり、教師の指導力向上にもつながっている。
